有害がん具(クロスボウ)の指定について

1. 指定するがん具

種類	名称等	構造	指定理由
がん具	クロスボウ(銃砲型近代洋弓)	銃型の弓で、銃同様に引き金を引くことで、矢を発射させるようになっているもので、発射された矢の有する単位面積当たりのエネルギーが、装填時の矢の先端から50cmの距離で0.07kgf・m/cm ² 重量以上のもの	構造又は機能が人体に危害を及ぼすおそれがあり、青少年に所持させることがその健全な育成を阻害するおそれがあるため

※0.07kgf・m/cm²(人体に危害を及ぼす恐れがある数値)

0.07kgf・m/cm²は、射角度水平で矢を発射した場合において、概ね装填時の矢の先端から3mの距離にある四隅を支えた状態の新聞紙5枚程度を貫通する威力を有するもの。

他県では、人体に危害を及ぼす恐れがある数値として「装填時の矢端から50cmの距離で0.07kgf・m/cm²」を設定(警察科学捜査研究所のデータを参考に、茨城県において検証済み)。

2. 諮問の根拠

(徳島県青少年健全育成条例)

第11条第1項及び第23条の2第1項 ※資料4参照

3. 諮問(指定使用とする)の理由

- ・ 令和2年6月4日、兵庫県宝塚市において、ボーガンを使用した殺傷事件が発生。過去にも、クロスボウを使用した事件が各地で発生。
- ・ クロスボウは、悪用したり、使い方を誤れば人体に危害を及ぼす恐れがあり、青少年が容易に手に入れることができると、青少年の健全な育成を阻害する恐れがある。
- ・ 全国では、既に17県で指定されており、本県においても、当該事件を模倣した類似事件の発生を未然に防止する必要がある。

(指定県:17県)

奈良県、和歌山県、岡山県、兵庫県、茨城県、栃木県、石川県、静岡県、滋賀県、島根県、熊本県、宮崎県、沖縄県、三重県、広島県、福岡県、大分県

4. 他県の主な指定要件(参考)

県名	名称・種類	構造	機能
奈良県 R2.6.29 指定	クロスボウ (銃砲型近代洋弓)	銃型の弓で、銃同様に引き金を引くことで矢を発射させることができるもの	発射された矢の有する単位当たりのエネルギー値が、装填時の矢の先端から1mの距離で0.05kgf・m/cm ² 以上のもの
和歌山県 R2.6.26 指定	クロスボウ (銃砲型近代洋弓)	洋弓を銃型に改造し、銃同様に引き金を引くことで、矢を発射させるようになっているもの	発射された矢の有する単位当たりのエネルギーが、装填時の矢端から50cmの距離で0.07kgf・m/cm ² 以上のもの
岡山県 R2.6.15 指定	クロスボウ (銃砲型近代洋弓)	洋弓を銃型に改造し、銃同様に引き金を引くことで、矢を発射させるようになっているもの	当該クロスボウの矢を装填し、発射された矢の有する単位当たりのエネルギーが、装填時の矢端から50cmの距離で0.07kgf・m/cm ² センチメートル以上のもの

※奈良県と他の2県の比べると矢の先端(矢端)からの距離及び値が異なるが、同等の力を有するもの

5. 指定のスケジュール

令和2年7月21日(火) 青少年健全育成審議会で審議
令和2年7月22日(水) 有害器具として指定し、県報で告示